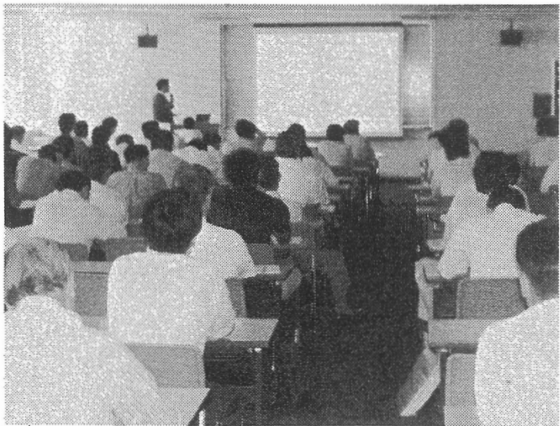


## コンクリートのひび割れ防止など 産学官共同の6研究を発表

〈県建設技術公社〉

福井県建設技術公社は26日、福井市手寄1丁目のアオッサで「ふくい建設技術フォーラム」を開き、産学官による共同研究を紹介した。フォーラムには土木工



約80人が受講した建設技術フォーラム

事関係者や設計コンサルタントら約80人が参加。今回は①ジオロックウォール／前田工織②岩斜面防災の安全評価システム／サンフコン③FMPフラッシュ・モルタル・パイル工法／ナチュラルコンサルタント④フライアッシュ混合型高炉セメントコンクリート／福井宇部生コンクリート⑤短繊維補強気泡混合軽量土（仮称）／前田工織⑥杉杭地盤改良工法（仮称）／飛鳥建設の6研究が発表された。

このうち、④では県コンクリート診断士の石川裕夏会長が、高炉セメントコンクリートにフライアッシュを添加することにより、ひび割れを抑制する技術を紹介。石川氏は、ひび割れ低減効果や耐久性などを検証し試験施工を行った結果、三成分系セメントコンクリート同じ材料構成により、温度・乾燥収縮によるひび割れは抑制できる可能性があるとの報告し、参加者を刺激した。